

第25回福岡県覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会

第1回実行委員会

と き : 平成17年9月9日(金)

ところ : 小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」

2F 視聴覚室

第25回福岡県覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会第1回実行委員会次第

日時：平成17年9月9日（金）

場所：小郡市総合保健福祉センター
「あすてらす」2F視聴覚室

1 あいさつ

・福岡県保健福祉部薬務課長

2 実行委員会設置要綱について

・役員の選出について

3 報告事項

・福岡県における覚せい剤・シンナー等の乱用の状況及び取り組みについて

4 協議事項

・第25回福岡県覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会の運営について

✓①開催要領について

✓②大会次第について

✓③登壇者について

④参加者について

⑤大会の周知について

⑥その他

第 1 回実行委員会出席者名簿

団 体 名	職 名	氏 名
ライオンズクラブ国際協会 337-A地区	地区レオ・ライオネス青少年 育成委員長	鈴山 充
(社)小郡三井医師会	会 長	丸山 泉
(社)小郡三井歯科医師会	会 長	井上 恭輔
(社)久留米三井薬剤師会	会 長	中園 明
福岡県薬業団体連合会	福岡県薬剤師会 常務理事	角田 直亮
福岡県シンナー等取扱業者連絡 協議会	会 長	松本 優三 代理 事務局
福岡県保護司会連合会	久留米保護区保護司会長	緒方 大三
福岡県私学協会	生徒指導委員会委員長	隈本 豊
(社)福岡県薬種商協会	常務理事	川崎 洋
福岡県麻薬協会	事務局長	牛之濱 貴正
(社)福岡県医薬品配置協会	常務理事	菊池 維隆
小郡市青少年育成市民会議	事務局長	山田 忠
久留米市青少年育成市民会議	会長代理	彌永 九州男
大刀洗町青少年育成町民会議	事 務 局	田中 正起
小郡市区長会	副 会 長	石井 一男
小郡市婦人会	会 長	目野 律子
大刀洗町連合婦人会	会 長	森 美恵子

第 1 回実行委員会出席者名簿

団 体 名	職 名	氏 名
小郡市社会福祉協議会	会 長	隈 太輔
小郡市老人クラブ連合会	事務局長	山田 身根男
大刀洗町老人クラブ連合会	会 長	中原 明
小郡市中学校PTA連絡協議会	会長代理	武藤 由美子
小郡市小学校PTA連絡協議会	会 長	宮崎 久徳
小郡市健康を守る母の会	会 長	永利 登志子

第 1 回実行委員会出席者名簿

団 体 名	職 名	氏 名
小 郡 市	健康課長	大石 寅雄
久留米市	健康医療課長	堀江 範子
大刀洗町	健康福祉課保健衛生係長	矢野 千恵子
小郡市教育委員会	教務課長	吉住 知城
久留米市教育委員会	主 査	吉岡 哲也
大刀洗町教育委員会	学校教育課学校教育係長	大浦 克司
福岡県久留米保健福祉環境 事務所	技術主査	牧草 由紀夫
福岡県保健福祉部薬務課	課 長 課長技術補佐 主任技師 主任技師	藤野 恒夫 田先 弘 鶴田 政一郎 梶原 直樹

第25回福岡県覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会実行委員会設置要綱

1 目的

第25回福岡県覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会（以下「大会」という。）の円滑な運営と必要な事項の支援のために、第25回福岡県覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）を設置する。

2 事業

実行委員会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 大会の開催に必要な総合計画に関すること。
- (2) 大会の運営及び諸機関との連絡調整に関すること。
- (3) その他、大会の開催に関し必要なこと。

3 構成

実行委員会は、大会の各協賛及び広域の団体並びに各関係行政機関をもって構成する。

4 役員

実行委員会に、次の役員を置く。なお、これらの役員は委員の互選により選出する。

- (1) 会長
- (2) 副会長

5 役員の職務

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長が職務を遂行出来ないときは、その職務を代行する。

6 事務局

この会の事務局を福岡県保健福祉部薬務課に置く。

7 本会は、大会の業務終了後解散する。

附則 この要綱は平成17年8月22日から施行する。

第25回福岡県覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会開催要領(案)

1 目的

覚せい剤やシンナー等の薬物乱用による検挙者数は、厳しい取締りや懸命な啓発活動にもかかわらず、依然として高い水準で推移しており、覚せい剤については、第3次乱用期と言われるほど乱用が広がっており、シンナーについても沈静化の傾向は見受けられません。

最近、携帯電話やインターネット等の普及により密売方法も巧妙化しており、また規範意識の低下も相まって新たな乱用者も増加しており、特に中学生までもが検挙補導されるなど低年齢化の傾向が顕著であり、次世代を担う青少年にまで薬物乱用の浸透がみられることは、極めて憂慮すべき事態であります。

これら薬物の乱用は、乱用者の身体や心を蝕むだけでなく、家庭を崩壊させ、様々な犯罪を次々に引き起こし、社会に深刻な影響を及ぼしています。

こうした薬物乱用を防止するためには、覚せい剤・シンナー等の恐ろしさを正しく認識し、県民が一丸となってこれに立ち向かう気運をつくる必要があります。次のとおり県民大会を開催します。

2 日時 平成17年11月25日(金) 13:00～16:00

3 会場 小郡市文化会館
小郡市大板井136-1

4 参加予定数 600人

5 主催 福岡県、福岡県薬物乱用対策推進地方本部

6 共催 小郡市、久留米市、大刀洗町
小郡市教育委員会、久留米市教育委員会、大刀洗町教育委員会
久留米市シンナー等薬物乱用防止対策本部

7 協賛 ライオンズクラブ国際協会337-A地区、(社)小郡三井医師会
(社)小郡三井歯科医師会、(社)久留米三井薬剤師会

8 後援 (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター、福岡県薬業団体連合会、福岡県シンナー等取扱業者連絡協議会、福岡県保護司会連合会、福岡県私学協会、(社)福岡県薬種商協会、福岡県麻薬協会、(社)福岡県医薬品配置協会、小郡市青少年育成市民会議、久留米市青少年育成市民会議、大刀洗町青少年育成町民会議、小郡市区長会、大刀洗町区長会、小郡市婦人会、大刀洗町連合婦人会、小郡市社会福祉協議会、大刀洗町社会福祉協議会、小郡市老人クラブ連合会、大刀洗町老人クラブ連合会、小郡市中学校PTA連絡協議会、小郡市小学校PTA連絡協議会、小郡市健康を守る母の会、大刀洗町民生委員協議会、大刀洗町消防団、大刀洗町交通安全協会

9 主な内容 実行委員会にて協議する。

大会次第(案)

	時間	大会次第	内 容
第1部			
13:00	20	吹奏楽演奏	門司税関音楽隊
	10	開会準備	
13:30	2	開会のことば	小郡三井歯科医師会長
	4	主催者あいさつ	福岡県知事
	4	共催者あいさつ	小郡市長
	4	来賓祝辞	福岡県議会議長
	4	来賓祝辞	小郡市議会議長
13:48	2	来賓・主催者紹介	
13:50	2	祝電披露	
13:52	6	厚生労働大臣及び医薬食品局長表彰伝達	九州厚生局麻薬取締部長
13:58	6	福岡県薬物乱用対策推進地方本部長 感謝状贈呈	福岡県知事
14:04	6	ポスター入選者表彰	福岡県知事
14:10	4	啓発用ビデオテープの贈呈	地元中学生・小郡三井医師会長
14:14	3	決意のことば	地元中学生
14:17	3	大会宣言	ライオンズクラブ国際協会 337-A地区ガバナー
	5	準備	
第2部			
14:25	15	薬物乱用防止体験セミナー体験発表	地元中学生
14:40	15	麻薬探知犬デモンストレーション	門司税関
	5	準備	
15:00	60	特別講演	牟田 征二氏
16:00	2	閉会のことば	久留米三井薬剤師会長

後援者名簿

団体名	事務所等住所	連絡先
(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	東京都港区虎ノ門2-7-9第1岡名ビル2F	03-3582-7429
福岡県薬業団体連合会	福岡市博多区住吉2-20-15	092-271-3791
福岡県シンナー等取扱業者連絡協議会	福岡市博多区東公園7-7福岡県保健福祉部薬務課内	092-651-1111
福岡県保護司会連合会	福岡市中央区舞鶴1丁目4-13	092-761-6736
福岡県私学協会	福岡市中央区天神4丁目8-15福岡ガーデンパレス内	092-713-7281
(社)福岡県薬種商協会	福岡市博多区博多駅前3丁目5-7博多センタービル4F	092-411-0311
福岡県麻薬協会	福岡市博多区山王2丁目3-5	092-471-2308
(社)福岡県医薬品配置協会	福岡市博多区博多駅南4丁目7-18-302	092-451-2303
小郡市青少年育成市民会議	小郡市大板井1180-1小郡市生涯学習課社会教育係	0942-73-2084
久留米市青少年育成市民会議	久留米市野中町1074-1	0942-35-3806
大刀洗町青少年育成町民会議	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-2670
小郡市区長会	小郡市小郡255-1小郡市総務課庶務法制係	0942-72-2111
大刀洗町区長会	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-0101
小郡市婦人会	小郡市大板井1180-1小郡市生涯学習課社会教育係	0942-73-2084
大刀洗町連合婦人会	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-2670
小郡市社会福祉協議会	小郡市二森1167-1	0942-73-1120
大刀洗町社会福祉協議会	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-4877
小郡市老人クラブ連合会	小郡市大板井1180-1小郡市生涯学習センター内	0942-73-2595
大刀洗町老人クラブ連合会	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-4877
小郡市中学校PTA連絡協議会	小郡市美鈴が丘5-15-1三国中学校内	0942-75-3820
小郡市小学校PTA連絡協議会	小郡市大保1394大原小学校内	0942-72-5500
小郡市健康を守る母の会	小郡市赤川273-1	0942-72-2179
大刀洗町民生委員協議会	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-2266
大刀洗町消防団	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-0101
大刀洗町交通安全協会	三井郡大刀洗町大字富多819	0942-77-0101

登壇予定者

1 来賓

- 福岡県議会議長
- 小郡市議会議長
- ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区ガバナー
- (社) 小郡三井医師会長
- (社) 小郡三井歯科医師会長
- (社) 久留米三井薬剤師会長
- 福岡県保護司会連合会長
- 県議会議員 (厚生環境委員会委員長)
- 県議会議員 (地元)

2 主催者・共催者等

- 福岡県知事
- 小郡市長
- 九州厚生局麻薬取締部長
- 福岡~~県~~保護観察所長
- 福岡県警察本部長
- 福岡県教育長
- 小郡市教育委員会教育長
- 久留米保健福祉環境事務所長
- 実行委員会長

覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会開催地一覧表

回数	年度	開催地	開催場所	参加者数
1	S 5 6	福岡市	大手門会館	578
2	S 5 7	大牟田市	大牟田市民会館	1,000
3	S 5 8	北九州市	戸畑市民会館	1,800
4	S 5 9	久留米市	久留米市民会館	1,300
5	S 6 0	福岡市	福岡市民会館	1,500
6	S 6 1	北九州市	小倉市民会館	1,450
7	S 6 2	田川市	田川文化センター	1,500
8	S 6 3	久留米市	久留米市民会館	1,500
9	H 元	福岡市	福岡市民会館	1,500
10	H 2	直方市	直方市民会館	1,200
11	H 3	北九州市	小倉市民会館	1,500
12	H 4	大牟田市	大牟田文化会館	1,500
13	H 5	福岡市	福岡市民会館	1,500
14	H 6	田川市	田川文化センター	1,500
15	H 7	北九州市	北九州厚生年金会館	1,500
16	H 8	柳川市	柳川市民会館	1,000
17	H 9	大野城市	大野城市まどかぴあ	1,000
18	H 1 0	直方市	直方市民会館	1,200
19	H 1 1	北九州市	八幡市民会館	1,200
20	H 1 2	福岡市	アクロス福岡シンフォニーホール	1,100
21	H 1 3	久留米市	久留米市民会館	1,100
22	H 1 4	飯塚市	イイツカコスモスコモン	1,000
23	H 1 5	中間市	なかまハーモニーホール	900
24	H 1 6	古賀市	古賀市中央公民館	1,050

参加者要請数一覧

団体名	会員数	人員
ライオンズクラブ国際協会337-A地区キャビネット事務局		80
(社)小郡三井医師会	5/11/25	5
(社)小郡三井歯科医師会		5
(社)久留米三井薬剤師会		5
福岡県薬業団体連合会		5
福岡県シンナー等取扱業者連絡協議会		10
福岡県保護司会連合会		80
福岡県私学協会		10
(社)福岡県薬種商協会		10
福岡県麻薬協会		30
(社)福岡県医薬品配置協会		30
久留米市シンナー等薬物乱用防止対策本部		80
小郡市青少年育成市民会議		20
久留米市青少年育成市民会議		10
大刀洗町青少年育成町民会議		10
小郡市区長会		20
大刀洗町区長会		10
小郡市婦人会		20
大刀洗町連合婦人会		10
小郡市社会福祉協議会		20
大刀洗町社会福祉協議会		10
小郡市老人クラブ連合会		20
大刀洗町老人クラブ連合会		10
小郡市中学校PTA連絡協議会	)	20
小郡市小学校PTA連絡協議会		20
小郡市健康を守る母の会		20
大刀洗町民生委員協議会		10
大刀洗町消防団		10
大刀洗町交通安全協会		10
合計		600

福岡県保健福祉部薬務課 鶴田 行
FAX 092-643-3305

第25回福岡県覚せい剤・シンナー乱用防止県民大会
の参加予定者数について

所 属

記入者氏名

連 絡 先

会員数

参加予定者数

※ お手数ですが、9月22日（木）までに御回答をお願いします。

福岡県内の薬物乱用状況

(1) シンナー等乱用少年検挙補導状況

区分		10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
全国検挙補導人員(人)		5,759	5,367	4,359	3,826	3,318	3,351	2,622
福岡県検挙補導人員(人)		649	533	538	609	606	814	625
少年(福岡県)	児童・生徒	171	192	208	219	193	261	209
	小学生	0	3	0	0	2	5	3
	中学生	58	95	94	102	96	126	103
	高校生	102	84	108	110	89	122	98
	その他	11	10	6	7	6	8	5
	有職少年	225	146	129	127	129	158	144
	無職少年	253	195	201	263	284	395	272

(資料: 県警本部少年課)

(2) シンナー等乱用少年検挙補導人員年次推移

	福岡県	全国
平成2年	1,096	25,283
3年	1,169	23,061
4年	1,051	17,125
5年	724	11,255
6年	684	9,049
7年	617	7,063
8年	605	5,781
9年	607	5,111
10年	649	5,759
11年	533	5,367
12年	538	4,359
13年	609	3,826
14年	606	3,318
15年	814	3,351
16年	625	2,622

(資料: 県警本部少年課)

(15 747/88)

(3) 覚せい剤乱用者検挙補導状況

区分	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
全国検挙人員(人)	16,888	18,285	18,942	17,912	16,771	14,624	12,220

(警察庁の統計資料による。)

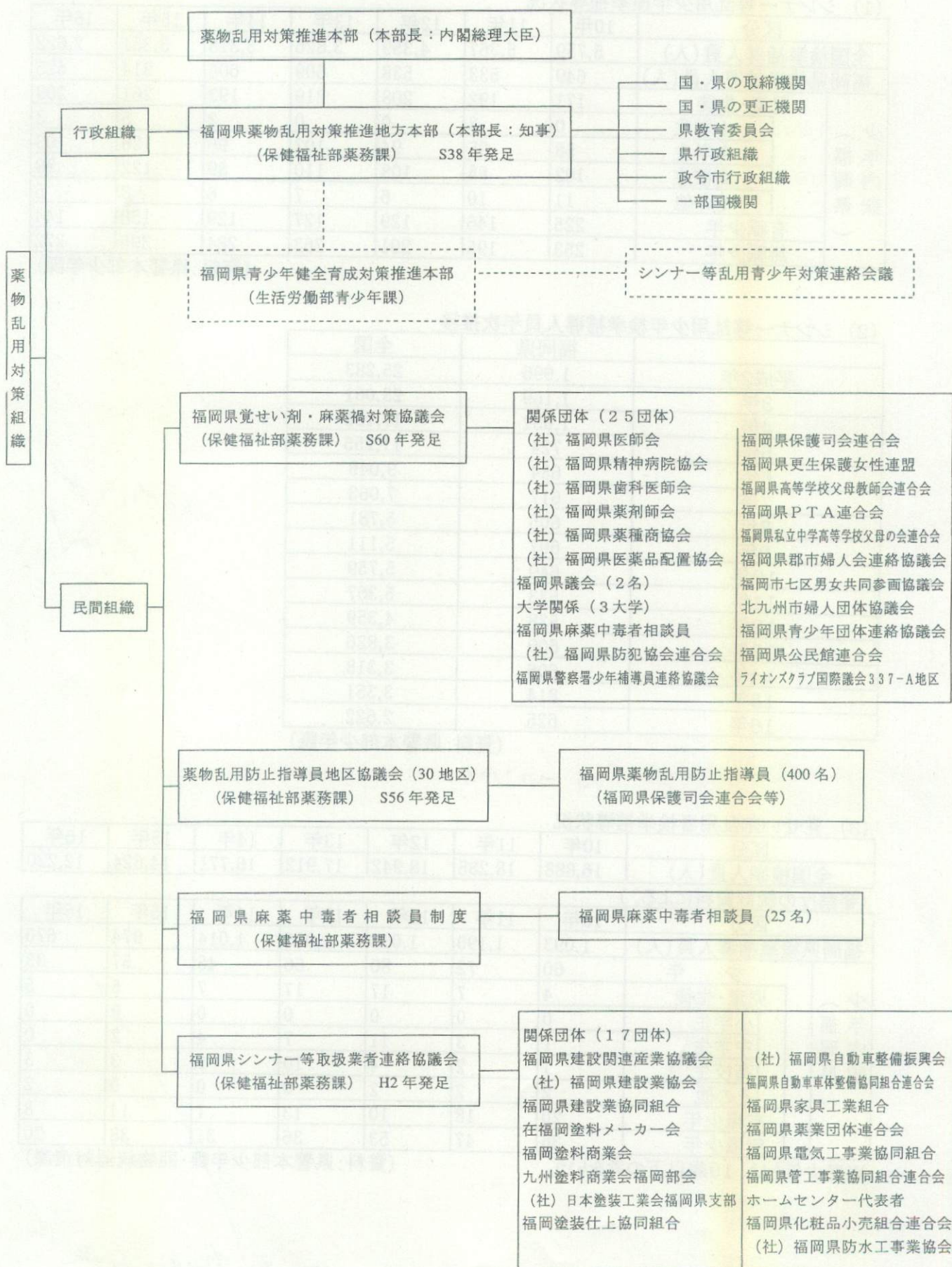
区分		10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
福岡県検挙補導人員(人)		1,093	1,190	1,038	1,035	1,014	974	670
少年(福岡県)	少年	60	72	80	66	45	57	33
	児童・生徒	4	7	17	17	7	5	5
	小学生	0	0	0	0	0	0	0
	中学生	1	3	11	7	4	2	0
	高校生	1	2	4	10	3	3	3
	その他	2	2	2	0	0	0	2
	有職少年	20	18	10	13	7	14	8
	無職少年	36	47	53	36	31	38	20

※青少年とは、19歳以下の者をいう。

(資料: 県警本部少年課・薬物銃器対策課)

7046 4457 1110 1220
Total 1110 1220

薬物乱用対策関係組織一覧表



福岡県薬物乱用防止新五カ年戦略

平成 15 年 9 月 12 日
福岡県薬物乱用対策推進地方本部

基本目標：依然として終息しない第三次覚せい剤乱用期等薬物乱用問題の一刻も早い終息に向け関係機関の連携を強化し総合的な対策を講ずる。

基本対策：供給遮断・需要削減両面からの対策により薬物乱用問題を早期に解決する。

- ①薬物乱用を拒絶する県民意識の醸成
- ②薬物事犯取締りの強化
- ③再乱用防止の取組み

目標 1：中・高校生等を中心に薬物乱用の危険性の啓発を継続するとともに、児童生徒以外の青少年に対する啓発を一層工夫充実し、県民の薬物乱用防止に対する理解を深める。

- ①学校等における薬物乱用防止に関する指導の充実
- ②有職・無職少年に対する教育・啓発機会の確保
- ③地域における薬物乱用防止に関する指導の充実
- ④関係機関等による相談体制の整備
- ⑤広報啓発活動の推進

目標 2：巧妙化・潜在化・大口化する密輸を水際でくい止めるとともに、多様な密売方法に的確に対処し、暴力団、一部不良外国人の密売組織の取締りを徹底するとともに末端乱用者の取締りの強化を行う。

- ①密輸・密売等に関する情報収集の強化と共同捜査等密輸取締体制等の強化
- ②暴力団・外国人等の組織犯罪対策と不法収益のはく奪
- ③末端乱用者等に対する取締りの徹底
- ④大麻・合成麻薬等多様化する乱用薬物への対応と正規流通の監督の徹底

目標 3：薬物依存・中毒者の治療と社会復帰を支援し、再乱用を防止するとともに、薬物依存・中毒者の家族への支援を充実する。

- ①薬物依存・中毒者に対する治療体制の検討
- ②薬物依存・中毒者の社会復帰の支援
- ③薬物依存・中毒者の家族に対する支援



教壇に立ち理療科の生徒に講義する牟田征二さん。点字の教科書を指先でなぞり、言葉だけで授業を進める＝佐賀市天祐の県立盲学校。

絶望克服、教え子に"光"

十八歳の秋だった。猛烈な頭痛と吐き気、息苦しさに襲われた。苦し紛れに大声を張り上げ、部屋中をのたうち回った。気がつくと病院のベッド。「あの時から、朝も昼もない。ずっと真っ暗。後悔しても元には戻らないんですがね」

県立盲学校の理療科教諭牟田征二さん(35)＝佐賀市新栄東＝が光を奪われて、十七年がたった。

原因はシンナー。中学二年のころ不良仲間誘われ、好奇心で手にした。「最初はためらいもあったが、あの気持ちよさを一度知ると、もう駄目だった」。高校受験も失敗。のめり込めばのめり込むほど生活も荒れていく。シンナー代欲しさに万引、窃盗を繰り返した。発作はそんなころ突然訪れた。

突き付けられた失明の現実を、すぐに直視できるわけがない。両親の勧めで盲学校に進んだが、やり場のない怒りを、またシンナーで紛らせた。

■恐怖と後悔

そして一年、再び発作が襲う。「今度はどこに障害が。耳、手足、それとも…」。症状が治まるまでの十日間。寝ても覚醒しても、恐怖と後悔の念にさいなまれ、やっとやめる決心をした。

ところが一度はまると、抜け出すことが難しい薬物中毒。牟田さんが常用したころの仲間は、幻覚症状に耐えきれず自殺し、シンナーを吸って暴走中に事故死した。覚せい剤に発展、廃人同様の生活を送る者もいる。

牟田さんも「誘惑に駆られる日々が続いた」。それでも踏みとどまることができたのは皮肉にも「中途失明という障害」があった。

光を失ったことは生活全般に影響した。読み書きはもちろん、一人で歩くことさえままならない。「それまで普通にできなかった情けなさ、悔しさ。そして暗闇の中に二十四時間いる恐怖。これ以上障害が増えたらどんな生活を強いられるのか」。禁断症状が表れるたび噴き出す欲望との葛藤(かっとう)を繰り返し、少しずつだが頭の中から抜けていっていった。

■ 自立への道

シンナーを断ったことで体力や気力も徐々に回復。自立への道を模索し始めた牟田さんは、盲学校普通科から針、灸（きゅう）、マッサージを学ぶ専攻科理療科に進学。そこで思わぬ声がかかる。「教師になってみないか」

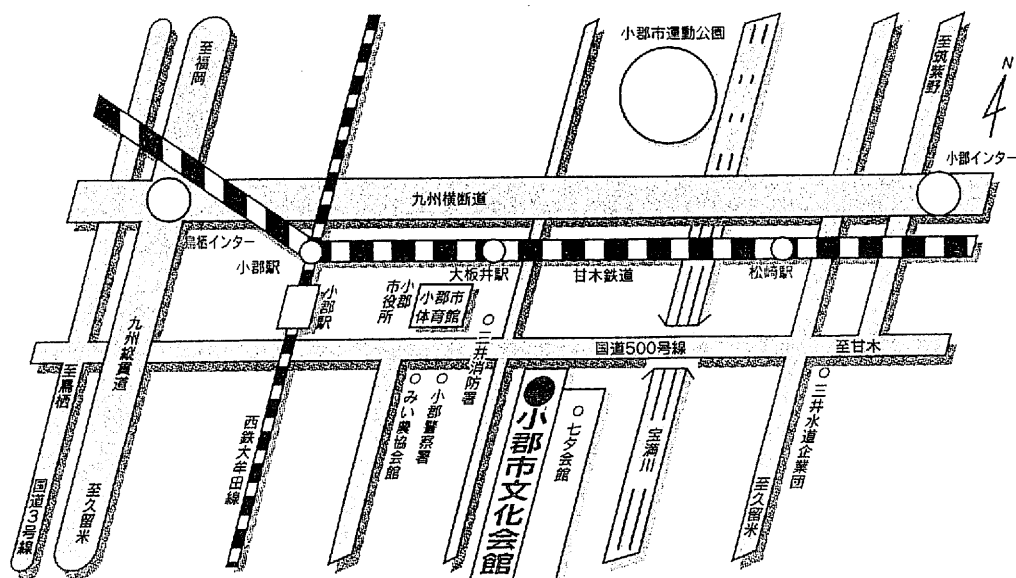
「おれのような者でいいんですか」。最初は断ったが、恩師は熱心に勧めた。「（荒れていたときは）あんなに反抗したのに。見守ってくれていたんだ」。頭が下がる思いだった。

普通科当時から牟田さんを指導した元教諭田中聞多さん(69)は「最初は手が付けられないほど荒れていたが、ある時期から取り組む姿勢が見違えるほど変わった。それがシンナーをやめたころと重なる」と振り返る。理療科を卒業するには成績もトップクラスとなり、「どん底からはい上がってきた意志の強さ、意欲を買ったし、経験がどこかで指導に生き、と考えた」(田中さん)と言う。

母校の理療教諭となって十年。教え子約五十人にはハンディの前に、悲観ばかりが先に立つ生徒もいた。しかし、そんな子が卒業するころには自信に満ちた声に変わっていくのが「何よりうれしい」。気が付けば、同じ境遇の子どもたちを導く役割を担っている牟田さん。プライベートでは教え子と結婚、二児の父親として家庭も築いた。

生き方を変え、歩いている道にも胸を張る。ただ一つ、光を失い後悔することがある。「子どもの顔を一度でいいから見てみたい」。これだけはかなわない現実だった。

当日は混雑が予想されますので
なるべく公共交通機関でお越しください。
やむを得ず、お車でお越しの場合は
なるべく乗りあわせをお願い致します。



- 交通**
- ・西鉄小郡駅より徒歩10分
 - ・甘木鉄道大板井駅下車徒歩約3分
 - ・小郡 I.C.より車で約 5 分
 - ・鳥栖J.C.より車で約15分